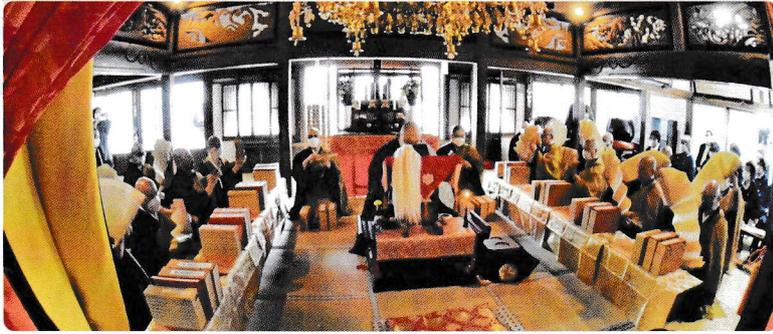


# 寺報

発行 福島市田沢字寺前18  
長秀院・仲興寺  
TEL 024(548)1240  
FAX 024(573)1202  
ホームページ <http://www.choshuin.jp/>  
e-mail [choshuin@rainbow.plala.or.jp](mailto:choshuin@rainbow.plala.or.jp)

発行責任 渡辺 祥文  
編集責任 渡辺 秀憲



5年振りの、多くの方丈様による大法要



同3月28日、お不動様例大祭

令和二年度法要から去年までは、全て小人数の法要でした。今から思えば本当に厳しいコロナ禍であったと改めて思う次第です。



マスク・手袋をつけての念仏  
皆様の協力で復活できました

期間にすれば平成三十一年(令和元年)以来、五年振りの大法要となり、共に集う法要がどれほど有難いものかと実感しております。

長秀院

大般若祈禱会  
不動明王例祭・総供養

五年振りに、各種法要修行される

仲興寺

彼岸会供養会  
念仏供養会・観音例祭

# 雲水日記 その十四

渡辺 秀憲

あつという間に夏のような日差しになりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。前回は年に二回の厳しい修行期間のひとつである「夏制中」<sup>なつせいちゆう</sup>についてでした。今回は、道元禅師の教えを学ぶ「眼蔵会」<sup>げんぞうえ</sup>についてです。

道元禅師は宋(当時の中国)から日本へ帰った後、自分の説いた教えをまとめ『正法眼蔵』<sup>しょうぼうげんぞう</sup>という著作を遺されました。「正法」は正しい教え、「眼」は照らす・明らかにする、「蔵」は包み込むという意味で、「一切のものを明らかにし、包み込んでいる正しい教え」すなわち仏法そのものを指します。『正法眼蔵』は曹洞宗における根本聖典に位置付けられており、永平寺の修行生活でもその根幹をなすものです。しかし文章

量が莫大かつ内容も仏教的に高度なので、一人で読み解こうとすると一筋縄ではいきません。そこで、修行生活と曹洞宗の学問に精通したご老師を講師としてお招きし、集中講義を受ける期間を設けるのです。これを「眼蔵会」といいます。

期間や頻度は年によって異なりますが、私が一年目のときは六月と十月に約十日間ずつ、二十日間ほどの日程でした。日常のお勤めは常のごとく修行しつつ、午前と午後、または夕食の後に講堂に集まって、それぞれ一時間半程度の講義をいただくのです。一日四時間以上講義を頂いても、二十日間程度では全体の一割も読み解くことはできず、来年に続きが持ち越されます。当時の講義については、白状すると内容

がちんぷんかんぷんで、恥ずかしいことにほぼ覚えていません。上山して三日月目の新米にとつて、一時間座って講義を受けることは睡魔との闘いなのです。結局まぶたが自然と降りてきて、船を漕ぐ始末。私を含めた数人は、後ろから観察していた先輩修行僧によつて、普段より一時間早く就寝することを命じられたのでした。

ひとつだけ、講師の先生が繰り返し強調され、今でも耳を離れないフレーズがあります。

「つまり、まるはだか。この世のすべては目の前に現れている、ということですよ」

意味は分からないながらも、その強烈な語感が強く印象に残っています。今の自分なら、その意味を少しは理解できるとでしょうか。これから一生をかけて、ご老師の言葉の意味を参究してまいります。



大本山永平寺眼蔵会

# 御挨拶

長秀院総代長



丹治 忠蔵

御役を拝命いたしました。

今般令和五年十二月一日付けにて総代長の

曹洞宗寺院として元和三年（一六一七年）

十一月十二日開闢、四百年を越える歴史を有する当山の伝統を大切にし、先祖の思いを忘れず檀信徒相和して未来へ信仰の絆を伝えてまいりたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

長秀院護持会長

丹治 正弘



このたび令和六年三月二十八日護持会総会

において護持会長の重任を頂戴いたしました。

第二次世界大戦・太平洋戦争後、新たな寺院護持の中心を担ってきた護持会は、宗費納入や各種行事の運営の中心として大事

な組織であります。多くの檀信徒の皆様と共に外護の役割につとめてまいりたいと存じます。何卒御協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

長秀院副総代長

福原 勇



総代長様と同日に副総代長を任命いただきました。

ました。

振り返りますと当山の役員をお務めになった諸先輩方のお顔が浮かんで参ります。総代長様の補佐として先人が守り伝えてきた当山の長い歴史を次の世代へ引き継いでまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

長秀院副護持会長

丹治 直哉



同じく護持会総会において副護持会長のお

役目を賜りました。当寺院を護り支えていく立場として護持会長様の一助となれるよう、ともに盛り立ててまいります。檀信徒の皆様におかれましては、どうかお力添えの程宜しくお願い致します。



安全と無事円成を祈願しご祈祷



「寺ノ前」新設駐車場のポール等追加工事・田沢川合流部の排水口工事等が始まります。

令和六年五月七日、総代長・護持会長並びに施工業社安齋建設列席のもと工事安全を祈願し祈祷会を行いました。一つ一つ、順を追って整備していくところです。長秀院入口を含めて工事が続きますが、何卒宜しくお願いいたします。

駐車場追加工事・  
排水口（田沢川合流部）等  
補修工事



# 住職挨拶

## 十九世 渡辺祥文

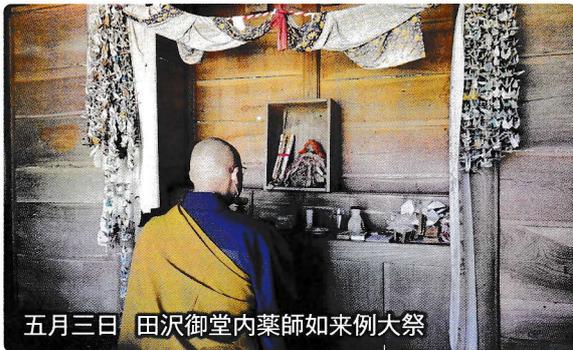
檀中皆様のお陰をもちまして、曹洞宗の特派布教師の任を三月三十一日をもって終えさせて頂きました。八期十六年間おつとめさせて頂けたのは、前総代長様はじめ役員の皆様方、そして檀中全ての檀信徒の皆様のお力添えの支えあればこそでした。特に、管長告諭を伝えるお役目故に、任命地区からは葬儀等あつても帰れずに、近隣有縁のお寺様にお頼み申し上げおつとめ頂きました。何とも申し訳ないことも多くあり、お詫び申し上げます。また、若い方を育成する布教師養成所の講師としても長くつとめさせて頂きましたが、こちらも退任させて頂きました。

只々感謝申し上げます。

さらに弟子秀憲も副住職となり、総代世話人様並びに護持会より過分の御祝いを賜りました。賜りました御祝にて導師用袈裟を新調させて頂き、後日披露させて頂きます。

秀憲本人もまた師匠の私も山内共々今後も長秀院発展のため不借身命を心がけ精進してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

(住職祥文 拝記)



観音様・お地藏様・お薬師様等  
各例祭五年振りに復活修行される

田沢・清水町地区・浅川地区には古来より持仏・守り本尊・一門や地域の守護尊等がおまつりされ、例大祭が行なわれていたが、コロナ禍で取りやめや人数制限で行なわれていました。

現在も住職がおつとめする貝沼観音、丹治雅智家地藏尊、丹治朝輝家薬師如来の例大祭等が、元にもどる形で修行されました。改めて有難いことであると思っております。さまざまな例祭が、取り行なわれたとお聞きし嬉しい限りです。

### 寄進芳名録

—ありがとうございます—

- 参拝用柄杓 丹治雅智殿
- 参道アスファルト補修 長沢辰夫殿
- 庫裡口引戸補修 五十嵐宣雄殿



第一教区長 岸廣雄老師より「副住職」の辞令を拝命



導師をつとめて、檀信徒の皆様へ挨拶



副住職として、本尊様・御先祖様へ御挨拶の報恩諷經の導師をつとめる



五年振りの皆様そろっての（各寺院のご住職も含めて）大般若祈祷・総供養を終えて、曹洞宗福島県宗務所第一教区長（陽泉寺住職）岸廣雄老師より副住職辞令を伝達頂きました。多くの檀信徒の皆様に見守られて、本尊様並びに檀信徒各家のご先祖様方へご報告とご挨拶の法要を、導師としておつとめ致しました。

両護持会より御祝いを賜りました。心より御礼申し上げますと共に、これからさらに長秀院・仲興寺のおつとめに精進していくことをお誓い申し上げます。

# 副住職辞令伝達・報告報恩法要

令和六年三月二十八日 大般若祈祷・総供養後に導師をつとめる



本堂にての観音例大祭



貝沼観音様のお里帰り(田沢袖貝)、御詠歌奉詠



山道を越えて、阿武隈川畔の田沢袖貝の祠前にて皆で記念写真



# 長秀院観音例祭



## 新メールアドレス

メールアドレスが  
新しくなりました

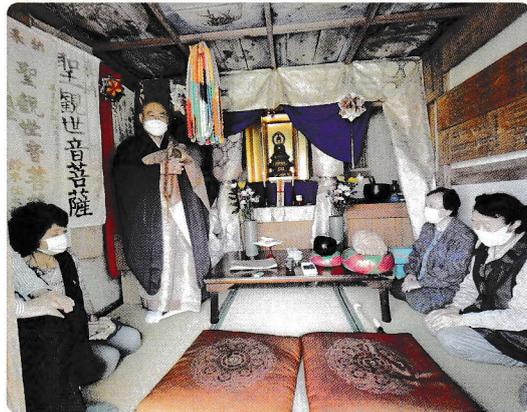
choshuin@  
rainbow.plala.or.jp



## SNS新設



FaceBook アカウントを開設致しました。各種行事のお知らせやご報告をしております。



清水町観音堂(仲興寺境内)において例大祭



清水町観音講の皆様が毎年お地蔵様のお帽子と前掛を縫って寄進して下さいます

# 清水町・仲興寺聖観音例祭

# 護持会々報 寺報別刷

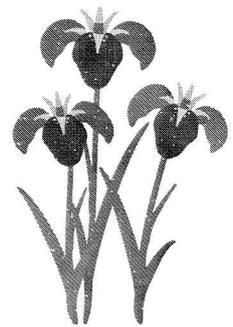
田澤山 長秀院  
長秀院護持会

## 曹洞宗 田澤山 長秀院 令和6年度「護持会総会」 3月28日5年振りに通常開催される

1. 議案第1号 令和5年度長秀院護持会行事報告
2. 議案第2号 令和5年度長秀院護持会収支決算  
並びに監査報告
3. 議案第3号 役員改選
4. 議案第4号 令和6年度長秀院護持会収支予算

令和6年度は総会は、新型コロナウイルス感染症感染禍も落ちつき、5年振りに通常開催されました。もちろんコロナ禍が全て収束・終息したわけではありませんので、マスク・手指消毒等を行い開催いたしました。役員各位を中心に通常法要、並びに護持会総会の開催を進めていただき、心から感謝申し上げます。

今後は、平成31年・令和元年当時の行事運営へ戻せるものは戻し、またやれることは実行していくという方向で進んでまいります。また、役員の改選等は寺報の通りであり、今般は護持会規約を4Pに掲載させていただきますのでそれぞれよくご覧下さいますようお願い申し上げます。檀信徒各位も、健康には充分ご留意されおすごしください。また、本年度も宜しく願いいたします。



FAX番号が変更になりました。  
電話番号は同じです。

電話 024-548-1240

FAX 024-573-1202

## 令和5年度 護持会行事報告

年 月 日	事 業
令和5年3月28日	釈尊降誕会・大聖不動明王大祭・大般若祈祷・総供養 内献
4月4日	福島市仏教会主催「花まつり講演会」(クーラクーリアンテ) 限定人数制限開催
4月17日	貝沼観音例大祭 内献
5月17日	第一教区教区会・教区護持会総会、限定開催 長秀院護持会、書面議決
5月26日	宗費納入(鎌秀院)
6月	第一教区梅花流特派講習会 中止
6月	第一教区特派布教師講話及び檀信徒集会
7月	総代世話人会・護持会理事会
7月下旬	禅のつどい(蓬萊学習C蓬萊地区少年育成会連絡協議会) 開催 20人
8月7日	盂蘭盆供養会(新盆供養・総供養) 人数制限にて修行
8月15日	御霊まつり盆踊り大会 中止
8月17日	福島市仏教会主催「流灯会」役員のみにて開催
8月	盆踊り反省会 中止
9月11日	福島県宗務所主催本山研修会(大本山永平寺) 限定開催
10月19日	福島県宗務所主催「梅花流福島県奉詠大会」 限定開催
11月	百年の杜実行委員会主催「そばを食べる会」・「洗心講座」 中止
11月	福島県宗務所主催梅花講習会・検定会等
11月	宗務所・第一教区会議等 一部開催
11月	曹洞宗宗務庁主催梅花講習会 於大本山永平寺
11月	瑩山禅師700回大遠忌予修法要(飯坂)
12月	教区・教区護持会理事会(住職) 中止
12月	定例総代世話人会 中止・書面連絡
12月31日	除夜の鐘 人数制限にて修行
	寺報発送等
令和5年1月1日	元朝祈祷
1月上～下旬	年始回礼
1月	教区新年挨拶・研修会 中止
2月	教区寺族会新年研修会 中止
2月	定例総代世話人会 中止・書面連絡
2月	福島県宗務所主催梅花講習会
3月	定例総代世話人会 中止・書面連絡
6月4日	護持会監査・代表者打ち合わせ
6月24日	*令和5年度護持会 理事による表決
定例行事等	寺報発送等年間6回発行(行事中止を補うため季刊から隔月刊へ増発行) 梅花講定例会・練習会 写経会・写経展示 6、7、10、11月開催 百年の杜実行委員会 ナチュラルガーデン作業 境内美化作業 有志参加 そばの会運営 実行委員会定例会 中止 ◎大聖不動明王奉賛会 勧募中止 ◎令和5年1月～5月コロナ第9波、12月～5月第10波の為行事限定開催

◎令和5年度も、コロナ禍のため令和5年6月24日より、令和6年3月までの変則年度となった。これは新型コロナウイルス感染症のパンデミックは令和5年5月8日をもって一つの区切りとなったが、安全のため対策等を継続したことによる。

現在令和6年度も、感染症が消えたわけではなく、感染状況に応じて臨機応変に対応を取ることとする。